



日本共産党

北地区政策委員長

のの山けん 区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.16 2007.3.6

発行 のの山けん 発行
〒115-0042 志茂 4-6-15

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

北区の積立金は335億円

区民の税金は区民のくらし応援のためにこそ

痛みやわらげ手当の支給、第2子からの保育料を無料に

——北区議会第4回定例会で日本共産党区議団が提案

いよいよ、北区議会第4回定例会がはじまりました。来年度の予算を決める大切な議会です。

1日、代表質問にたった日本共産党の八百川孝議員は、区民に増税と介護サービスなど福祉の切り下げを押しつけてきた花川区政の4年間をきびしく批判、区の積立金が昨年末の300億円から、335億円へとさらに積み増されていることを明らかにして、「区民の税金は、区民のくらし応援のためにこそ使うべき」と主張しました。

具体的には、①高齢者の「生きがい手当」や「痛みやわらげ手当」の支給、②区独自の介護ヘルパー派遣、③障害者の負担軽減、④出産費用の完全無料化、第2子からの保育料無料化など子育て支援、⑤若者雇用サポートセンターの開設などの提案をしめし、区長

に実現を迫りました。

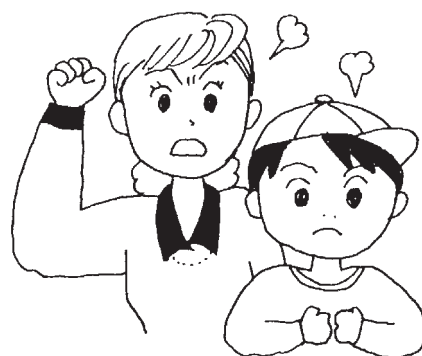
へんげんく、げん

のきび、い

を、こよ

また八百川氏は、北区で大問題になっている「介護認定ランク下げ」について追及。すでに破たんが明らかとなっている北区独自のきびしい認定基準を撤回すべきと迫りましたが、花川

区長はあくまでも「撤回しない」と開き直りの答弁に終始しました。



都知事選出馬うかがう浅野氏

宮城県での“実績”は

自民党政治そのもの

都知事選出馬を検討している元宮城県知事の浅野史郎氏。氏が知事の時代にやったのは、母子家庭の入院給食費を無料から有料にするなどの福祉切り捨て、船の来ない港に3千億円もつきこむ大型開発の推進という自民党政治そのものです。

これでは石原都政の福祉切りすてもムダ使いも正すことはできないのではないのでしょうか。

日本共産党演説会に1000人を超える参加者

豪華海外出張、税金飲食…税金ムダ使いの石原都政ただし

都民本位の都政を

2月27日、北とぴあで日本共産党演説会が開かれ、1千人を超える人が参加しました。

元足立区長の吉田万三氏は、石原都政による豪華海外出張、料亭での税金飲食、オリンピックに名をかりた大型開発に8兆円もつきこむ税金のムダ使いを厳しく批判。都民本位の都政への転換を訴えました。

笠井亮衆院議員は、安倍政権が格差と貧困の広がりになんら解決策をしめさないばかりか、庶民増税でますます暮らしを追いつめようとしていることを指摘、派遣労働の規制緩和に賛成し、「働く貧困層」急増の原因をつくった民主党では対抗の足場が持てないと強調。「日本共産党の躍進でこそ政治は変えられる」と訴えました。

9人の党区議団とともに、私、のの山けんも紹介をうけ、「この間、都営住宅、マンション紛争、介護ランク下げ、生活保護など、連日のように生活相談活動にとりくんでいます。これからも、ねば



党区議団とともに、会場からの声援にこたえる、のの山氏（右から4人目）

り強く住民の願いにこたえたい」と決意表明しました。

演説会では、このほか、庄司まさお社会保険推進協議会会長、そねはじめ都議、田村智子元参院議員秘書が訴えをおこないました。

日本共産党演説会

志位和夫
委員長が訴えます

3月10日（土）午後1時 明治公園



●元足立区長
吉田 万三



●元参院議員秘書
田村 智子

